

Story

わたし物語

「岩津松平氏輝きの600年」 推進懇話会

◆「いわづまつだいらしかがやきの600ねん」すいしんこんわかい



にやくいち むなふだ

岩津町の若一神社にある棟札写しによると、徳川家の前身である松平家が岩津に進出してまもなく600年。令和6年3月29日(金)に岩津城跡が市の文化財に指定されました。“人と人との関わりを大切に”をモットーに、岩津城跡の保存・整備活動を行うのは、「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会の皆さんです。

岩津城跡は主郭と南郭、それらを結ぶ土橋、空堀などが主な遺構となり、城域は東西150m南北200mほどで、戦国末期に徳川家康公により整備されました。現在でも戦国末期の遺構が残る城跡です。

「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会は2019年に結成され、地元の有志や歴史ファンなど、役員20人、ボランティア30人ほどで、それぞれができる範囲で城跡の保存・整備活動を行っています。月に一回行われるボランティアの活動日には、小中学校の学校行事として、子どもたちが整備活動を手伝ってくれることもあります。

岩津城・岩津城跡について
詳しくはこちら▶



「岩津地区は、山間部から平野部へ進出を目指す松平家の拠点として重要な地。歴史的な価値のある場所を整備することで地域の活性化と、みんなが誇ることのできる町になることを目指しています」と代表の阿部さん。

岩津は、まだまだ十分に認知されていない歴史の舞台。会の取り組みの大きな目的は、市内外を含めて岩津のことをもっと知ってもらい、身近に素晴らしい歴史的な財産があるという、その価値を伝えること。

阿部さんは、「松平から岩津、安城、岡崎という流れで家康公を輩出しますが、そのプロセスの中で、岩津が見落とされることがないように、非常に重要な歴史的背景があることを知っていただき、大事にしてほしい」と話します。「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会は、これからも岩津城跡を守り続け、歴史ある岩津を、そして岡崎を盛り上げていってくれることでしょう。



オーガニックシティおかざき

オーガニック
ビレッジ宣言の
詳細はこちら



家康公生誕の地として、三河武士が築いたともいえる江戸のまちのシステムを活かした有機農業産地づくりを目指し、食・環境・産業の好循環を実現するため、「岡崎市有機農業実施計画～オーガニックシティおかざきプラン～」を策定し、オーガニックビレッジ宣言を行いました。

江戸のまちでは、地域で生産されたものを地域で消費し、まちから出るし尿や灰などが肥料として金銭や野菜と取引・交換され有効に活用されていました。まち周辺の農家の土壌を肥沃にただけでなく、まちと周辺農村地域の間の循環圏を育て、経済と環境の好循環が実現していたといわれています。こうした江戸のまちのシステムをできる限り見習い、化学的に合成された肥料や農薬を使わない環境にやさしい有機農業産地づくりを推進し、岡崎で採れた食材を岡崎の学校給食で提供するなど地消地産により流通におけるエネルギーも抑え、地域内の産業を活性化させていきます。

“オーガニックシティおかざき”として、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを推進していきます。



3月26日オーガニックビレッジ宣言

